

毎週日曜発行
2020 5/10

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

きょうのテーマ

中学校や高校は、制服のある学校が多いよね。みんなは学校に制服があることをどう思う？河北新報社に届いたいろいろな声をまとめてみたよ。

◇「制服に賛成」と書くのは角田市角田小6年小野寺彩華さん。「来年行

ぼくも私も 語りたい!

制服があることに賛成？ 反対？

より良いルール考えよう

く予定の中学校の制服はかわいいし、朝、服を選ぶ時間が省けて楽だと思えます」と、率直な意見を寄せてくれました。

仙台青陵中等教育学校1年高橋杏奈さんは「制服を着ることでこの学校の生徒だ、今日も頑張ろうという気持ちになる」との賛成意見です。「社会のルールを守り、忍耐力をつけることを学べる」とも考えています。

岩沼市岩沼北中2年高橋伶奈さんも「身だしなみは礼儀の一つ。礼儀ができていないと信頼してもらえない」との立場。

「制服は中学生という時期に社会の文化を少しでも知ってほしいとの願いから生まれたのでは」と想像します。



一方、多賀城高1年志鎌快晟さんは「中学校は私服でもいいのでは」と指摘。制服は体温調節し

づらい、制服でトラブルに巻き込まれる可能性もある、私服は気持ちを表せる一などの理由を挙げ「決まりを作った方がいい」とまとめました。

仙台市中山中1年今野智実さんは「賛成とも反対とも言えませんが、制服を市町村ごとに分けたり、全校生徒でデザインを決め、みんなが納得して着なくなる制服にした

りするのが良い」とのアイデアを寄せました。



N高3年樋渡夏伶さん(仙台市)は、男子はズボン、女子はスカートという制服の決まりに疑問を持ちます。体は女子、心は男子という小学生のニュースを例に「スカートを履きたくないという気持ちを優先したら、学校の選択肢は狭くなる」と指摘。「固定観念に縛られずに制服を考えることで、より多くの学生がより良い学校生活を送れるのでは」と訴えました。

◇ みんないろいろな思いや考えがあるんだね。「当たり前」とスルーせず、誰かと話してみてね。

募集テーマ、記入事項やあて先は、7面を見てね!

制服についてみんながいろいろな意見を持っているようだね



今週の注目ニュース

◇12日(火) ナイチンゲール生誕200年
1820年のこの日、近代的な看護の生みの親と呼ばれるフローレンス・ナイチンゲールが生まれたんだ。新型コロナウイルスに感染した人を救おうと、懸命に働く看護師さんに感謝の気持ちを忘れないでね。

きょうの紙面

- 2面 イマ★どきりポート
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 休校中どうしてる?
- 6面 絵でわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー

みんな思い出

みんな言いたい

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ